

埼玉県 (株)関東地区昔がえりの会

埼玉県GAP



OGAP手法取組の概要

加工用野菜(ほうれんそう、こまつな)を中心に、各作物の生産グループごとにGAP手法を導入。農薬管理・使用方法、肥培管理方法を統一化し、農薬、肥料の適正管理に重点を置いた取組を実施。

また、常時作業場の整理・整頓に心掛けており、定期的な清掃を実践。

OGAP手法導入のきっかけ、経緯

取引先(消費者)へ「安全・安心」を届ける手法として、必要性を認識。

OGAP手法導入に関し、工夫した点等

各作物のグループごとに生産者を集め、説明会・勉強会を実施。チェック項目等は、生産者の話し合いの中で決めることにより、過度の負担にならないよう留意。

OGAP手法導入によるプラスの効果等

- ・栽培方法が統一され、全体の品質が向上した。
- ・当会内の安全・安心に対する意識がさらに向上した。
- ・整理整頓することにより生産コストが削減された。

○実践者からのコメント

- ・農家同士が作付状況等の情報交換を書類で行うことにより、お互いに点検することができます。
- ・GAP手法導入に当たり、従来のチェックリスト等を見直すきっかけになり、項目を集約し簡素化したため、思った程手間はかかりませんでした。
- ・安定的な取引を行うには、GAP手法は良いと思うので、他産地でもぜひ取り組んで欲しいと思います

